

HELLO!!!



外国人指導助手
イングリッド・
レザー

Ingrid Lezar

「制服」

ほとんどの日本人学生は、外国の学校を想像するとき、映画で見たアメリカの学校を思い出すでしょう。カフェテリア、チアリーダー、アメリカンフットボールの選手、そして私服。それは、わたしにとっても同じです。南アフリカの学校はイギリスの影響を受けているので、アメリカの様子とは全然違います。

内子町の学校の制服と、わたしが通っていた学校の制服には、大きな違いがあります。それは制服の組み合わせです。わたしが小学生（1～7年生）と高校生（8～12年生）のときに、制服の改革がありました。その改革の後、制服はもっと便利で組み合わせも良くなりました。

わたしの小学校の制服は、今の日本の制服と同じような感じでした。夏用の制服は今も変わりありません。

冬用の制服は、フォーマルで不便だったので変わりました。今は紺地にえび茶と金色の線が入った体操着です。この体操着を着るときは、必ず白い靴下と運動靴を履かなければなりません。体操着の上着の下には、紺色のTシャツ、白か紺色のポロシャツ、白か紺色かえび茶色のタートルネックシャツのいずれかを着ることができました。また雨の日や寒いときには、同じ色のレインコートがありました。

この制服は、前の制服ほどフォーマルではありませんでしたが、小学

生にとっては十分でした。そしてとても暖かく便利だったと思います。

高校時代にも冬用の制服が変わりました。わたしが卒業してからいろいろと変わりましたが、今回はこの冬用の制服に注目したいと思います。

冬用の制服はえび茶色を主体としていました。えび茶色のスカート、白いシャツ、えび茶と白の上着、えび茶色の女性用ネクタイと、紺地にえび茶と白の飾りがある格好いいジャケットです。

ポイントは、スカートの下に黒いストッキングを履いても良いことです。そして、さらに良かったのは、紺色の長ズボンの制服もあったことです。もちろん、わたしはズボンを履きました。もっと寒いときには、えび茶色の分厚いジャケットとスカートもありました。それらは、いろいろと調整しながら、格好良く着ることができました。個人的にはスカートよりズボンの方が格好良かったと思います。何よりも、おかげで冬は暖かく過ごせました。

内子町の冬は、南アフリカの冬よりも寒いです。冬に制服姿の学生を見ると「ひどい」と思ってしまいます。わたしが5枚の服を重ね着しているのに、女子学生は素足です。わたしがタートルネックを着てスカートも巻いているのに、首もとの開いた上着を着ています。

もちろん、皆さんも知っているように、学生は防寒のために制服のシャツの下に重ね着をし、女子はスカートの下に体操着を着ています。それは無理ありません。

制服を変えるのは、難しく時間もかかります。でも、わたしは自分の小学校と高校の制服が変わってとても良かったと思います。その改革のおかげで、制服はもっと便利で組み合わせの良いものになり、暖かく過ごすことができるようになりました。南アフリカには雪が降らないのに……。

